

# 夏の味覚「らいでんコーン」

## 札幌市場へ出荷開始

J A きょうわ

北海道を代表する夏の味覚、トウモロコシ。その代表的な商材であるJAきょうわ

の初セリが、20日、札幌市中央卸売市場で行われた。

最高値は、秀品(2L)1本200円。昨年の150円よりも高値であつた。

来が収穫される。ゆめのコーン(サカタのタネ)は、黄色と白色のバカラーコーン、味来(パ

イオニアエコサイエンス)は、ゴールデンコーンで、しつかりした甘みと歯応えのよさが特徴。北海道名物、

らいでんコーンは、「ゆめのコーン」と「味来」の2つの品種からなるが、初セリは、「ゆめのコーン」。1週間ほど後に、味

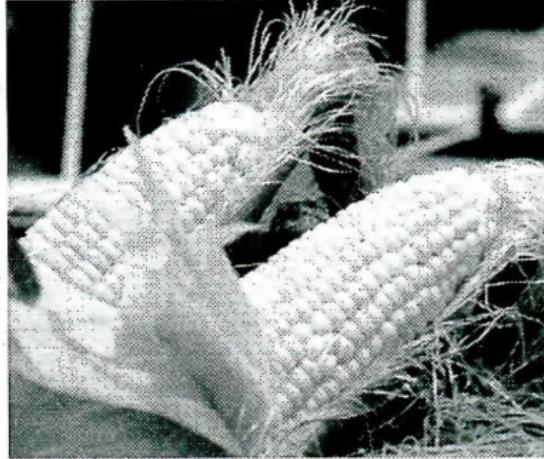
コシは、4~5月の天候不順と積算温度の不足で、初出荷が例年より1週間ほど遅れたが、その後の気温の上昇により、品質は上々。JAきょうわでは、鮮度が大きく味を左右するトウモロコシの出荷に際し、より新鮮な状態で届けられるよう、早朝まだ暗いうちに収穫し、1本ずつ選別。それを選果場にて、5℃で減圧処理し真空予冷すること

で、余分な水分を除き良質のトウモロコシの鮮度保持に努めている。商品化にあたっては、スイカやメロンでも有名な「らいでん」ブランドのラインアップとし

担当者は「昨年は異常な高温により栽培に大変苦労しましたが、今年は適温のため、とてもおいしいゆめのコーンができました。是非みなさんに食べていただきたい」と語った。9月初旬まで出荷が予定される。(小川由美)

## 大阪府が「準農業者以外の

大阪府では、農業者以外でも円滑に農業へ参入できるよう、「準農家制度」を創設した。小規模の農地を農



最初は「ゆめのコーン」からスタート